

## 「緊急事態宣言」延長に伴う対応

新型コロナウイルス感染症による「緊急事態宣言」が3月7日まで延長となりました。皆様、くれぐれも『うつらない、うつさない』の行動で、ご自身やご家族の身をお守りください。宣言が延長となりましたので、センターのコロナ対応は1月20日にお知らせしましたとおり、しばらくの間は継続いたします。ご理解ください。地区の活動に制限がある中、新年度が近くなり地区総会などの準備を考える季節になってきました。皆様にご苦勞をおかけしていますが、暫くは文書やメールなどを活用し、打ち合わせや会議を進めてください。  
(事務局長)

## 「事故防止及び事故取扱基準」が制定されました

1月の理事会で標記基準が決まりました。この基準は、会員が安全かつ適正に就業することで、事故を未然に防止し、会員を事故から守ることを第1の目的としています。この基準を遵守しない会員には、注意勧告や、就業停止の措置を取ることとしています。また、傷害保険の適用となった場合は、保険適用金額の10%(上限3万円)を自己負担とし、賠償責任保険でも保険適用金額の10%(上限3万円)を自己負担としています。保険適用とならない金額は全額会員負担(これまでどおり)と明記されました。施行は4月1日からですが、事故を起こすことの無いよう注意を重ね、くれぐれも気をつけていただくことを願います。※次号につづく。  
(安全・適正委員会)

## ●リモート形式による

### 「夙川地区役員会」開催の模索



令和3年1月13日に大阪、京都、兵庫の2府1県に対して緊急事態宣言が出されました。そのなかには企業における勤務形態の7割をテレワークで、との要請がありました。偶然とはいえ、令和2年度第5回夙川地区役員会が1月16日に予定されており、会議をリモート形式で行うことを1月11日に決定したばかりでした。顧みますれば昨年7月に今後の新型コロナウイルス感染症の拡大を見越し、リモート形式による役員会の開催を模索していました。ITに精通した当地区会員の支援のもと、リモート形式による会議の環境が整い、9月19日の第4回役員会をリモート形式で全員参加で行いました。会議は、対面形式よりもリラックスした雰囲気にもまれ、全員が活発に意見を述べあう形で進行し、無事会議を終了しました。地区役員平均年齢73歳の高齢者集団による快挙であり、小さな一歩ではありますが、夙川地区として、センターにおける時代の魁となれたことを嬉しく思っています。  
(夙川地区リーダー)




**1月末の事業実績**  
※()は昨年比

- 会員数：2,309人(+1人)
- 事業高累計(含派遣)：573,926千円(-62,282千円)
- 就業実人員(含派遣)：1,760人(-49人)

**センター無事故継続日数**

- 就業中：19日
- 就業途上他：128日

(2021年1月31日現在)



**ショートメッセージが届きます!!**

2月24日に、事務局に登録されている会員のみなさまの携帯電話番号に、センターからショートメッセージを送ります。事務局に携帯電話番号の登録がまだの方は、ぜひ、この際にお知らせください。詳しくは、同封の案内をご覧ください。(事務局)

**\*\*\*  
コロナ禍で見つけた良いこと**



**折り紙で  
万華鏡!**

それは本当に偶然だった。自粛生活が始まり、外出するのは買物とウォーキングだけ。家では毎日テレビを見ていた。テレビに飽きるとYouTubeにハマリ、日光猿軍団の猿回しが面白くて気持ちが軽くなったのを覚えている。また、折り紙を日々楽しみに折っている80代の女性がいた。良く見ると、なんと折り紙で万華鏡を作っていた。ん？万華鏡？そういえば夏休みの「子供工作教室」で作ったけど、なんか違っていった。手のひらでクルクルと回す万華鏡だった。早速、100円ショップで折り紙を買い、いざ！折るとなると、なんとパーツが192個もいる。8色の折り紙を揃えて、早くクルクル回したい一心で、時間の経つのも忘れてせっせと折った。すると、指先に刺激が……。多少はボケ防止になったような気がした。やっとパーツが完成し、繋ぐところで何度も失敗。思考が止まってしまった。何回目かに完成した時の達成感はこの歳になって忘れられないものとなった。その後も幾つかの万華鏡やフラワーボールを折り、今は100本の薔薇の花に挑戦している。(鳴尾南地区会員)

**トラブルに巻き込まれないために③**

就業会員の皆さん、日頃のお仕事ご苦労様です。

**●お仕事は順調でしょうか？**

もしお仕事で悩みごとのある場合は事務局担当者にご相談ください。いざシルバーでお仕事を始めると、「現役時代の経験が役に立たない」「別世界の仕事」「発注者の仕事のやり方が気になる」などは、よく聞く話です。初めて目にする職種や人間関係。これまでと違うのは当たり前です。

①体力的に厳しい場合は、体が慣れるまでようすを見ましょう。どうしても無理だと判断したら担当者にその旨を伝え、一緒に働く会員や発注者に迷惑をかけないように調整したのち辞退しましょう。

②なかなか仕事の要領がつかめず困った場合は、仲間の会員に相談するか、発注者に相談などし、努力をしてみましょう。

①②の場合とも、悩みを一人で抱えず、仲間の会員や担当職員に相談してください。抱え込んで1人でくよくよ悩みトラブルに発展する前に、みんなが気持ちよく頑張れるよう解決しましょう。(事務局)

**終活教室③**

**葬儀・墓について**

葬儀と墓は、遺された家族を困らせることがないように、今のうちに決めておくといいでしょう。また、家族に経済的な負担をかけたくないなら、葬儀社など専門家に具体的な葬式の形態、金額、などを相談しておくことが大切です。

例えば、一般葬、家族葬、また通夜を行わない一日葬、葬儀・告別式を行わない火葬のみの直葬、密葬、お別れ会などがあります。一般財団法人日本消費者協会調査(2016年)によりますと葬儀の全国平均は190万円、最高880万円となっています。一般相場では90万円程度、直葬で20万円程度だそうです。

思い立ったが吉日、さあ近々に調べられてはいかがでしょうか。(広報・企画委員会)